

# 新 登 録 生 育 調 節 剤 一 覧

農林省農蚕園芸局植物防疫課

昭和51年3月1日～52年3月31日

| 種 類 名   | 商 品 名  | 有 効 成 分<br>及 び 含 有 量 | 作物名 | 使用目的   | 希釈倍数     | 散 布 液 量<br>( $\gamma$ /10a) | 使用時期    | 使用方法 | 登録会社  |
|---------|--------|----------------------|-----|--------|----------|-----------------------------|---------|------|-------|
| 植物成長調整剤 | アピオン-C | パラフィン<br>36.0%       | 茶   | 蒸散抑制   | 30～50倍   | 200 $\gamma$ /10a           | 11月下旬以降 | 散 布  | 五月女 清 |
|         |        |                      | 水 稻 | 植いたみ防止 | 100～200倍 | 1 $l$ /苗代 $m^2$ 以上          | 移植直前    |      |       |

## 植 調 協 会 だ よ り

### ◎ 会議開催日程のお知らせ

- ・昭和52年度水稻除草剤試験中間現地検討会  
日 時：昭和52年6月16～17日  
場 所：山形県農業試験場
- ・昭和51年度芝生関係除草剤試験成績検討会  
日 時：昭和52年6月21～22日  
場 所：にのみやC.C. (栃木県芳賀郡二宮町

三谷, TEL 02857-5-0121

- ・昭和51年度秋冬作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会  
日 時：昭和52年6月28～29日  
場 所：名古屋共済会館 (名古屋市中区三の丸 1-5-1, TEL 052-201-3326)
- ・除草剤体系節減化試験中間現地検討会  
日 時：昭和52年6月28～29日 (予定)  
場 所：宮城県古川農業試験場, 青森県農業試験場

### 編 集 後 記

薫風かおる季節となったが、今年は200海里専管水域問題で水産物は軒なみ値上がりし、国民生活に暗い影を投げかけている。いっぽう、食糧生産についても、農業技術が向上したとは言え、狭い耕地に頼らざるを得ない現状では、国民生活をまかなうに足りず、輸入に頼らざるを得ない。農村の若者達からは、生産性の低い農業を見捨てられ、農地は荒廃し、農業生産力は著しく低下してきている。しかし、これらの人達は、万一、農産物の輸入が不可能になったときのことを考えているのであろうか。除草剤の開発と農業機械化により、重労働から解放さ

れている筈なのだが。これからの農業の発展は、企業組織化する以外、期待できそうにもない。

財団法人 日本植物調節剤研究協会  
東京都港区芝西久保桜川町26番地  
電話 東京(03)502-4188(代)

昭和52年5月発行

植調第11巻第2号

¥250 (送料140)

編集人 日本植物調節剤研究協会常務理事 吉沢 長人  
発行人 植調編集印刷事務所 広田 伸七

東京都港区芝愛宕町1-3 全国農村教育協会内  
発行所 植調編集印刷事務所  
電話 東京(03)436-3388番